

適応的近傍を持つシミュレーテッドアニーリング
小野 景子

1 今月の課題

- Second International Workshop on Intelligent Systems Design and Applications : ISDA の準備
- ISDA での発表

2 ISDA2002

場所 : Morehouse College, Atlanta, USA 日程 : 2002/8/7 ~ 8/8

3 研究集会の詳細

今回参加したのは Second International Workshop on Intelligent Systems Design and Applications ¹⁾ です . 2002 年の 8 月 7 日から 8 月 8 日 Atlanta の Morehouse College において開催されました .

学会では以下の研究内容についての発表を対象としています .

- Artificial Neural Networks
- Fuzzy Systems
- Evolutionary Algorithm
- Hybrid Soft Computing
- All Other Intelligent Systems

私は今回、この内 "Evolutionary Algorithm" のセッションに参加しました .

学会全体をみると、この学会は Fuzzy についての研究発表が多く、さかに議論されているという印象を受けました .

4 発表の概要

今回の発表は、

内容は "Simulated Annealing with Advanced Adaptive Neighborhood" と題して発表をおこないました . 内容は以下のとおりです

- 連続問題における近傍の決定方法の種類
- Corana の手法の説明
- 新しい近傍設計の説明
- 実験結果 (Corana と AAN の比較)

質問された事項としては、

- 温度と近傍の関係について .
- 近傍を調節しなくても温度を上げるだけでよいのではないか .

です .

発表論文 :

Simulated Annealing with Advanced Adaptive Neighborhood

著者 : Mitsunori MIKI

Tomoyuki HIROYASU

Keiko ONO

5 感想

今回、初めて学会に参加した皆さんの新しい経験をすることが出来ました . 発表自体は事前の準備により、問題なく発表を終えることが出来ましたが、やはり質疑応答は納得のいくものにはなりませんでした . 質問の内容が 50 % ぐらいしか聞き取れなかったもので、ちゃんとした答えをすることは出来ませんでした . これから、海外で発表する機会があるかもしれないので、もっと日頃から鍛錬をしなければならないと痛感しました .

6 謝辞

今回の学会参加に向けて指導していただいた、三木先生、SA 班の方々に感謝しています . 参加に際しては三木先生より補助を受けましたことを感謝します .

7 来月の課題

SA/AAN の TPSA 化を完成させ、第 12 回設計工学・システム部門講演会 日本型ものづくりの復権 の原稿締め切り 9 月 20 日に向けて結果をまとめる .

参考文献

1) ISDA2002 : <http://isda2002.softcomputing.net/>